



宮城県南三陸高等学校 自然科学部

宮城県本吉郡南三陸町志津川字廻館92-2

松原海岸の生物調査

干潟調査

2018年10月、南三陸町の海全体が「志津川湾」としてラムサール条約湿地に登録された。その最奥部、ラムサールエリアのすぐ近くに松原海岸は位置し、東日本大震災に伴う大津波で干潟環境が形成され、住民の意向で守られた特別な干潟がある。この場所に、どんな生き物たちが生息しているのかを知るために、2017年から調査が始まり、面積が狭いにも関わらず、希少な種の生息を支えている生物多様性の高い干潟であることがわかっている。震災後の復旧工事では、私たちの調査結果を受けて、工事の計画が見直され、干潟の生物や環境に配慮した様々な工夫が施されることになった。その後の私たちのモニタリング調査から干潟環境が生物にとって住みやすい環境が維持されていることがわかった。